



広げよう「友好と奉仕」の輪

会長 西井 勝明

人類に奉仕するロータリー

本日は 第3017回 例会
プログラム
市民後見人制度について
No.2829 2月9日(木)

次週以降の予定
2月16日(木)故 西井会長 追悼例会
2月23日(木)食を通じた地域振興の可能性
3月2日(木)新会員卓話

第3016回 例会報告

2017年 2月2日(木)

副会長挨拶



滝川駐屯地業務隊第31代隊長 西川 肇様と補佐として山田さおり様でございます。後ほど卓話を頂きます。
最古参の会員の縄手康照会員が亡くなりました。法人葬(病院葬)を2月11日芳村会員さんの興禅寺さんで10時から行います。
インフルエンザ猛威を振るっています、ノロウイルスなどの感染症に十分にお気をつけください。
既に次年度の活動が始まっています。なにかご要望がございましたら山口エレクトクさんにお伝え下さい。

幹事報告



- ①. 芦別RCさんより2月例会プログラムが届いております。
- ②. 財団米山より上期ご寄付頂いた方へ確定申告用の領収書が届いております。
- ③. 本日(2日)18時30分より第14回の定例理事会を開催いたしますので関係者のご出席をよろしくお願いいたします。

2月の祝福

ロータリーの友誌紹介

ロータリーの友誌委員会 井上委員長より2月号の報告がありました。



【SAA委員会担当例会】

ーゲスト卓話ー



SAA 渡辺 浩司 会員
卓話テーマは東日本大震災の教訓、事業の趣旨は2011年3月の大震災に対して自衛隊が全力で取り組んだ史上最大の作戦を自衛隊幹部の方から直接お話をお聞きしまして、会員の皆様に改めて防災について考えて頂く機会にさせていただくというのが趣旨でございます。
講師紹介：滝川駐屯地業務隊第31代隊長、出身地は徳島県で、昭和40年生まれ。主要経歴は昭和56年自衛隊入隊から各部隊を経験され、平成28年8月から滝川で勤務されておられます。

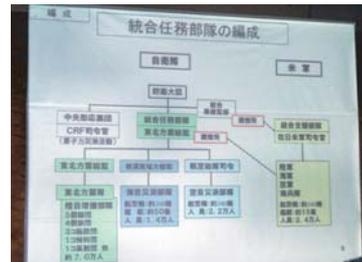
「東日本大震災の教訓」



陸上自衛隊滝川駐屯地 業務隊長 西川 肇様
本日はお招きをありがとうございます。東日本大震災の教訓で学んだ事などをお話

させていただきます。隊員は日夜ご遺体の捜索などに奮闘されてきました。ニュースなどで報道されましたが、被災された方々に暖かいご飯を食べてもらいたいということで隊員は冷たい缶飯などで頑張ってくれましたが、業務隊長としては被災された方々は勿論、隊員にも暖かいご飯を食べてもらいたかったのですが、駐屯地も被災し隊員の方まで手がまわらなくなったというのが事実です。このことは一つの教訓としてとらえられております。

自衛隊の災害派遣部隊の活動についてのご説明をいたします。



統合という言葉がでてきますが陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊の全てをまとめたことをいいます。統合任務部隊は防衛大臣の下に東北方面総監が有りその下に陸・海・空が結集し活動いたします。そして米軍が「ともだち作戦」として支援をしていただきました。

自衛隊の構成は北部方面隊・東北方面隊・東部方面隊・中部方面隊・西武方面に別れ、この震災で東北方面隊第9師団が中心に活動致しました。



第9師団の編成は師団長の下にそれぞれの司令部がありそして、第5・21・39普通科連隊、特科連隊、後方支援連隊、私(西川)は戦車大隊で着任を致しました。



発災直後の師団主要部隊の運用は、当初非常勤務態勢へ14時46分に発令し移行し集まった舞台が被災地に向けて前進を開始致しました。主力の大きな部隊は16時30分に各被災地域に前進を開始致しました。



まず、ヘリ部隊主力が八戸駐屯地から飛び、状況確認をしましたが、被災地域が広範囲にわたるため花巻空港からもヘリ部隊が出動し各師団に状況報告をします。師団には6千名位の隊員がありますが足りませんので北海道の旭川の師団が一番最初に応援に入りました。



活動内容はまず人命救助です。72時間以内の救助に全力をあげました。そして行方不明者の捜索、情報収集、道路の整備、医療の支援などを4ヶ月ほど活動し、以後民間や自治体などに引き継ぎを致しました。

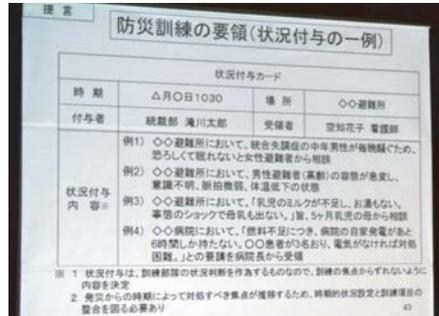


震災からの教訓は情報の共有です。各市町村は被災により情報の把握が全くできません。県も通信ができなくなっている為全く情報が入らない状態で状況が解らない、解らないから何をしたいか解らない状況ですので、行き当たりバッタリの手当しかできないということでした。情報を掌握するシステムをどう構築し維持するかが一つの教訓になっております。

次に情報を取得した以降ですが各方面から駆けつけた消防・警察・自衛隊が県庁に入りますが、当初県庁が機能していないため縦に情報が入ったとしても横に情報が伝わっていないため情報を使いきれなかったということが有りました。対応部隊も自分のところだけの情報で対応をしていたという状況だった為、被災者がどうなっているのか、またニーズは何なのか全く分からなかった為、人命救助の

部隊の人員を情報収集の部隊に移し情報支援をいたしました。

そこでこの震災で比較的上手く情報を共有出来るようになったのは、第9師団が青森から師団長ごと県庁の12階の大きな会議室に入り、県と同じデスクで情報を共有し活動致しました。重要な情報は被災者の個人個人の状況と被災者の避難場所と数、避難場所に何人の被災者が避難しているかなどが重要でした。



通信の早期復旧も教訓に有りました。自衛隊と民間の通信共有ですが、自衛隊と民間との通信システムが違うため情報伝達ができませんでした。自衛隊は国防という立場からなかなか民間との間での通信共有や指揮統制が困難でした。各団体はどの分野で活動するのかなど細かく分けて指揮命令系統を構築いたしました。このような災害支援は民間の皆様のご協力がなければできませんのでこれからも自衛隊に対してご支援とご協力、ご理解を賜ります様よろしくお願いたします。



編集後記 会報委員会 入井会員

第3016回例会を終えて

ご講話を拝聴させて頂き改めて自衛隊の活動は素晴らしいと感じました。我が国は自衛隊なくしては成り立たないのでは無いかとも思いました。



神部 洋史会員

東日本大震災の自衛隊のお話を聞けて。

山根 幹生会員

私も青年会議所時代に被災地支援の事業に多く携わりました。大変、為になる卓話を有難うございます。

奥山かおる会員

お誕生日祝いを頂いて。

西村 和之会員

結婚記念の祝福を頂いて。

桜井 寿紀会員

結婚記念日、忘れていました。

渡辺 浩司会員

担当例会を終えて。西川業務隊長・山田様、有難うございました。

会長／西井 勝明
幹事／坂本 和繁
編集／クラブ会報委員会

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL(0125)22-3344
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。